

臨床研究に関するお知らせ

宮崎大学医学部附属病院脳神経外科では、下記の臨床研究を実施しています。皆様には本研究の趣旨をご理解頂き、ご協力を承りますようお願い申し上げます。

研究課題名：間脳下垂体腫瘍における視機能及び内分泌機能に關与する因子の解明

1. 研究の概要

間脳下垂体腫瘍（下垂体腺腫、頭蓋咽頭腫、ラトケ嚢胞、胚細胞腫瘍、髄膜腫、神経膠腫）では、視覚路（視神経、視交叉、視索）や視床下部一下垂体に腫瘍が近接していることから、初発症状として、視機能異常、下垂体前葉機能異常、尿崩症などをきたすことが多く、これらの機能の温存や改善は“健康に直接関連する生活の質（Health-related quality of life: HRQOL）”において極めて重要です¹⁻⁸。このため、これらの神経機能、内分泌機能が治療によりどの程度改善するか予測可能な因子や、機能を温存するために必要な因子を検討・解析し、解明していくことは極めて重要と考えられます。また、こうした解析結果により、新たな手術方法や治療方法を確立することが可能となり、極めて重要な知見が得られると考えられます。

本研究では、間脳下垂体腫瘍の摘出術前後に評価した視機能検査、内分泌機能検査と病変によって影響を受ける脳機能や神経回路、臨床的因子について解明する。治療成績を向上するため、間脳下垂体腫瘍に対する新しい治療方法を創出することが極めて重要と考えられ、本研究を計画しました。

2. 目的

本研究は、間脳下垂体腫瘍の分野における新たな知見を得ることを目的とする学術研究活動として実施されるものであり、本研究の目的は、間脳下垂体腫瘍における視機能や内分泌機能を最大限に温存する手術方法や治療方法を確立することです。

3. 研究実施予定期間

この研究は、倫理委員会承認後から2022年6月まで行われます。

4. 対象者

2006年7月から2021年12月に本院脳神経外科に入院され、間脳下垂体腫瘍（下垂体腺腫、頭蓋咽頭腫、ラトケ嚢胞、胚細胞腫瘍、髄膜腫、神経膠腫）の治療を受けられた方が対象となります。

5. 方法

対象となる方のカルテ情報から、臨床的特徴（年齢、性別、初発症状、既往歴、診断名、罹患期間）、MRIの検査結果、手術時所見、病理組織学的所見を利用して頂き、視機能や内分泌機能に影響を及ぼす因子について解析し、新たな治療法の可能性について検討します。

6. 費用負担

この研究を行うにあたり、対象となる方が新たに費用を負担することは一切ありません。

7. 利益および不利益

この研究にご参加いただいた場合の利益・不利益はありません。参加を拒否された場合でも同様です。

8. 個人情報の保護

研究にあたっては、対象となる方の個人情報を容易に同定できないように、数字や記号などに置き換え、「匿名化された試料・情報（どの研究対象者の試料・情報であるかが直ちに判別できないよう、加工又は管理されたものに限る）」として使用いたします。

9. 研究に関する情報開示について

ご希望があれば、研究計画および研究方法についての資料を閲覧することができます。ご希望がある場合は、下記連絡先へ遠慮無く申し出てください。ただし、研究の独創性確保に支障のない範囲内で情報開示を行います。

10. 研究資金および利益相反について

この研究に関する経費は、法人運営費で賄われます。

なお、本研究の実施責任者と分担研究者は本研究に関わる企業および団体等からの経済的な利益の提供は受けていないため、利益相反はありません。

11. 研究成果の公表

この研究で得られた研究成果を学会や医学雑誌等において発表します。この場合でも個人を特定できる情報は一切利用しません。

12. 参加拒否したい場合の連絡先

この研究に参加したくない（自分のデータを使ってほしくない）方は下記連絡先へ遠慮無く申し出てください。しかしながら、データ解析後、もしくは学会等で発表後は途中辞退することができない場合もあります。

13. 疑問、質問あるいは苦情があった場合の連絡先

この研究に関して疑問、質問あるいは苦情があった場合は下記連絡先へ連絡をお願い致します。

宮崎大学医学部附属病院脳神経外科

職名 講師

氏名 渡邊 孝

電話：0985-85-3128 （内線 2340）

FAX：0985-85-8541